

<水谷氏からのメッセージ>

皆さんからの「夢」の発表のあと、水谷氏から次のようなお話をいただきました。

- 熱い、熱いメッセージをありがとうございました。ご発表いただいた方の他にも、おひとりおひとり活動があって、想いがある、夢があると感じました。こういった想いを共有することがまちづくりの第一歩だと思います。
- 本日は時間が限られていましたが、この会は今後も開催されるそうですので、是非ご参加して、お話し合いをしていただきたいと思います。
- これまで、こうした会は行政主導となっていました。参加者の皆さんのやる気や熱意が「新たなまち」をつくっていくのだと思います。皆さんが主体となって行政や事務局と一緒に「まち」をつくっていただければ素敵だと思います。

以上のような内容で第1回の語る会は終了しました。

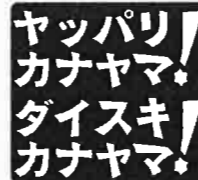
ただし、会終了後も至る所で話し合いの輪ができ、名刺交換や情報交換などされる光景も目にでき、前夜、数名の参加しか得られない夢を見た事務局としては、大変嬉しかったです。(^^)

次のとおり第2回の開催をご案内します。

次回以降も手探りで開催となりますが、ぜひぜひご参加ください。心よりお待ちしております。

**第2回 金山地区のまちづくりを語る会 開催のご案内**

- 日時：平成27年7月8日(水) 午後2時30分から午後4時30分まで
- 場所：名古屋都市センター11階 大研修室 中区金山町1丁目1番(金山南ビル)  
※金山南ビル内中央にあるシースルーエレベーターをご利用ください。
- 内容：①各団体のまちづくり活動について(情報交換)  
②講演「今考える金山のまちづくり」(仮題)  
講師：中部大学工学部都市建設工学科教授 服部 敦 氏  
③その他(意見交換等)



金山地区のまちづくりを語る会事務局(公益財団法人名古屋まちづくり公社)  
担当：経営企画室 戸田・近藤 TEL 052(222)2315

information

**第10回 金山夏まつり**(主催 金山橋連合商店街振興組合)

今年で10回目を迎える「金山夏まつり」。毎年、商店街の皆さんの熱意により多種多様な趣向で皆さんをお迎えしています!!

「第10回」という記念すべき年。ご家族お誘いあわせのうえ、ぜひお出かけください!!

- 日時：平成27年8月1日(土)・2日(日)
- 場所：日本特殊陶業市民会館(メイン会場)、音楽プラザ、アスナル金山、その他

**第6回 金山ナイト盆おどり**(主催 金山商店街振興組合)

ホテルの宴会場で開催される日本一(!?) 快適な盆踊り。食べて!! 飲んで!! 踊って!! の大盛り上がり!!!!(グルメも食す価値アリ!!)ぜひ、ご来場ください。

- 日時：平成27年8月3日(月)・4日(火) 17:30~21:00
- 場所：ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋7階大宴会場
- その他：入場券(1,200円/700円のチケット付)が必要です。(前売り券1,000円好評発売中!!)

**金山地区のまちづくりが始まります!!**

前回のかわら版第1号でご案内した「金山地区のまちづくりを語る会」が6月10日に名古屋都市センター大研修室で開催されました。

語る会には、地元にお住いの皆さん、ご商売をされている皆さん、地権者の皆さん、施設の管理をされている皆さん、行政関係者など、**多様な主体の皆さん49名の参加**をいただきました。

冒頭に事務局から次のとおり挨拶と会の趣旨説明がありました。

<挨拶・趣旨説明>

- 現在も、金山をよりよくしようと、学区や商店街の皆様が、清掃活動、防災訓練、イベント開催等様々な活動をされています。こうした個々の活動が、皆様一堂に会し、互いに情報交換したり、他のまちづくり事例に目を向けることで全体として相乗効果を生み出し、今以上の大きな力になると考え、「語る会」を始めさせていただきました。
- ただし、まちづくりは一朝一夕に成し遂げられるものではなく、よって、趣旨としては、**地域の魅力や価値、安心・安全性の向上を図るため、地域に関係する多様な主体の皆さんと一緒に「まち」を考え、方向性を共有し、納得度を高めながら持続的なまちづくりを行っていくことのできる仕組みづくり、体制づくりを検討する場**として設置されたものです。
- 今後も一人でも多くの方にご参加いただけるよう、広く呼び掛けてまいりたいと考えています。
- 金山に対する思い、よりよい街に育んでいこうとする思い、そんな想いを結集して、今以上の大きな力・原動力にしていきたいと考えています。
- 金山地区の活性化を事業の一つとして取り組んでいる公社として、この会の事務局を務めさせていただきます。今後も長いお付き合いをよろしくお願いいたします。

**金山は戦略的まちづくりを進めるための「重要な拠点」です!!**

その後、名古屋市住宅都市局まちづくり企画課の田村課長より、金山地区のまちづくりの経緯、名古屋における位置づけ、更には地区の現状等についてご説明いただきました。

<まちづくりの経緯>

- 金山地区には古くから鉄道が敷かれ、昭和19年には名鉄、昭和37年には国鉄、昭和42年には地下鉄が乗り入れることになり、広域的な交通結節点となっている。
- 平成元年世界デザイン博覧会の開催を契機として総合駅化され、平成2年の整備構想に基づき金山南ビルが誕生した。
- また、平成14年には金山北地区整備計画を策定し、その計画に基づきアスナル金山が誕生している。
- アスナル金山も10年が過ぎ、本市としても昨年度から開発構想についての調査を実施している。



名古屋市 田村 正史課長

＜金山地区の位置づけ＞

- 昭和 63 年新基本計画により「副次拠点域」として位置づけ、都市機能の集積を図り、広域交流拠点の形成を図るとされている。
- そして、現在も『総合計画 2018』において、名駅や栄とともに「都心域」の土地利用ゾーンに位置付けられている。
- 平成 23 年に策定した『都市計画マスタープラン』では、戦略的まちづくりを進めるための「重点地域」の一つとして、都市力・都市魅力を強化し、回遊性向上・賑わい創出を図るとされている。

＜金山地区土地利用等の現状＞

- 商業・業務機能は駅周辺に集積がみられるものの、一本中に入ると一般住宅等居住機能が中心になっている。
- 容積率は駅周辺 800%を中心に高い指定を受けているが、充足率は低い状況にある。
- 駅近隣の地価上昇率は大きく、市の商業地平均を上回っている。



＜その他＞

- 地元の皆さんも積極的な活動を行っていただいております。本市としても、金山の新たな将来構想として「金山駅周辺まちづくり構想」の策定に着手している。来週には学識経験者等で構成する懇談会を開催するので、その内容は、この語る会でも紹介していきたい。

田村課長からのお話のあと、講演のなかでもふれられた商店街の活動について、金山橋連合商店街振興組合の磯部理事長と金山商店街振興組合の片桐理事長より、ご紹介をいただきました。

皆さんの夢は何ですか？金山の未来をどんな風に描きますか？  
金山をどんなまちにして、そこで何をしたいですか？

続いて『金山のまちづくり』をテーマに、「社会的合意形成」を専門とするパブリック・ハーツ(株)代表取締役の水谷氏からご講演をいただきました。



パブリック・ハーツ(株)  
代表取締役 水谷 香織氏

水谷氏は、八熊に生まれ育ち、学生時代から金山駅を利用されるなど、「金山」には思い出、思い入れを持っていただいているとのこと。また、大学時代から「社会的合意形成」の研究をされ、名古屋都市センターの特別研究員であった時期もあるそうです。そして、地元の方々には生活をかけ、財産をかけ、人生をかけて合意形成を図ろうとするなか、研究の一環として片手間ではなく、真剣に取り組んでいく必要を感じ、2006年に会社を設立されたとのこと。

そして、水谷氏から、「お住いの皆さん、ご商売をされている皆さんが一堂に集まる貴重な機会です。自己紹介も兼ねて、皆さんの夢、金山の未来、金山をどんなまちにしていきたいか、お近くの皆さんでお話しになってください。」との投げかけがありました。これに対して、参加者の皆さんは和気あいあいとした雰囲気の中、活発にお話し合いをされていました。



その後、参加者の皆さんから「金山がこんなまちになって欲しい。」と発表いただきましたので、その内容をご紹介します。

- 地域が活性化して、全国から多くの人たちに来てもらえるまちにしたい。そのためにも、アスナル金山跡地にランドマークとなるような施設が必要であり、市民会館の建て替えを含め、もっと回遊性が創出できるような開発が必要である。
- 金山を目的としてお越しになる方をもっと増やしていく必要があるのではないか。個の力では限界もあり、横の繋がりを作るため「繋ぐ会」を立ち上げ、情報交換等を行っている。行政の力や大きな資本に目を向けてもらい、金山に来街の「目的」ができることを期待している。
- 金山が国際会議場にお迎えするゲストの滞在拠点であり、機能連携を図っていく必要があると考えている。  
今後も来街者に良い印象を持ってもらえるよう、「まちかどコンシェルジェ」としてお迎えいただきたい。
- 「プチ東京」ではなく、名古屋ならではの、金山ならではの「まち」になって欲しい。そんな「まち」になるよう皆さんと話し合っていきたい。